



伝えたい
残したい
わがまちの
誇り



ふるさととの 情景

VOLUME

5

加賀田地区
(加賀田上加塩の地藏盆)



市 内には、たくさん石造の地藏菩薩像があり、古いものでは、中世に遡るものもあります。日本における民間信仰では「子どもの守り神」として地域の人々の信仰を集めてきました。

このような地域の篤い信仰を象徴するのが、毎年8月に開かれる地藏盆です。地藏盆は近畿地方で盛んに行われてきた祭礼で、当日、地藏が浄められ、新しい前垂れや供物が用意されます。また、灯籠を立てるなどの準備も行われます。日が暮れる頃には、地藏の前に地域の人々が集まり、祭礼が始まります。子どもも参加し、菓子などが配られます。しかし、近年では少子化のため参加する子どもも少なくなくなり、祭礼の様子も様変わりしています。



4



ふるさとのひと
矢伏 照博さん

今は子どもの数が減って参加してくれる子は数人になってしまった地藏盆ですが、30〜40年前は多い時で60人以上の子どもが来てくれました。提灯も200くらい飾られ、とても賑やかでした。当時は地藏尊前の道幅も狭く、子どもたちが道路に飛び出さないよう自治会で見守ったり、おにぎりやおでんを作って振る舞ったりと、忙しくて大変でしたが、今では楽しかった懐かしい思い出になっています。

1 加賀田上加塩地区の地藏盆 2 加賀田地区からは岩湧山以外に金剛山も望むことができる 3 地藏盆には欠かせない提灯 4 2体の地藏菩薩像が一つの石板に家られている上加塩の地藏尊

※上加塩地区の地藏尊へは三日市町駅から南海バス「加塩」下車すぐ。